

国土交通省バリアフリー関係パンフレット（抜粋）

国土交通省では、平成18年12月施行の「バリアフリー新法」（高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律）の趣旨を踏まえ、総合的かつ一体的なバリアフリー化を進めるとともに、国民のバリアフリーに関する意識啓発にもより一層努めることとしている。このため、国土交通分野におけるバリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人又は団体を表彰し、優れた取り組みを広く普及させ奨励することを目的として、国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰制度を創設している。

昨年度までのパンフレットは大臣表彰に選ばれた取組に限り掲載されている。今年度においては、大臣表彰に至らない優良な取組も取り上げることとなり、市民部会及び茅ヶ崎市立鶴嶺小学校の取組が紹介されている。

国土交通省のホームページは次のとおり。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_tk_000001.html

茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会市民部会・茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
「障がい者・自治体・小学校の3者が連携した心のバリアフリーの取組」

講 評

バリアフリー基本構想推進に取り組んでいる行政と市民組織、小学校学習指導要領改訂により「心のバリアフリーのための交流」に取り組むこととなった教育現場と、さまざまな障害を抱えた当事者が、同じ目線で連携することで、生きたバリアフリー教育の実践事例を作りあげた。関係者が綿密に話し合いを重ね、連続性をもたせ対話を重視することで、「相手を知る」「相手を思いやる」「感謝を伝える」という人と人とのコミュニケーションにおける当たり前の手段で、障害への理解と心のバリアフリー推進への効果的なアプローチが実現した。障害を持つ当事者や市民、先生方を含め関係者誰もが生き生きと自発的に参画している様子から、この取組に参加する次代を担う子供達を通じて、社会の気づきと変容につながる大きな可能性を感じた。

茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会市民部会・茅ヶ崎市立鶴嶺小学校の取組

●心のバリアフリー教室の実施（障がい者と児童との交流授業）及び共感を目指す普及啓発活動

市民部会は、心のバリアフリー推進を目指し障がい者等の声を市民に広く周知するための活動を実践してきた。市民部会と小学校が連携し障がい者と児童との「対話と交流、そして気づき」を重視した体験型「心のバリアフリー教室」を実施し、障がい者と児童との出会いを通じ互いの理解を深め、児童に思いやりや支え合う心といった「気づき」が生まれた。また、市発行の広報紙等を活用し「ありがとう」から始まるバリア解消メッセージを継続発信し、バリアフリー社会の実現（市民の相互理解）に取り組んでいる。



◎今後期待される取組

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、日々の生活や教育現場の行動が制限される中での取組の推進には困難が予想されるが、鶴嶺小学校で手応えを得た「心のバリアフリー交流」を市内全域や他の自治体へ着実に広げてほしい。

プロフィール

【団体名】

茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会市民部会・茅ヶ崎市立鶴嶺小学校

【連絡先】

茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会事務局（茅ヶ崎市都市部都市政策課）：茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号
茅ヶ崎市立鶴嶺小学校：茅ヶ崎市浜之郷477番地

【Web-URL】

茅ヶ崎市ホームページ（茅ヶ崎市バリアフリー基本構想）
<https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/machidukuri/1015026/index.html>

【活動等の経緯】

2016年 心のバリアフリー推進のため市民部会設立
2017年 障がい者の外出促進
2018年 アンケート調査、リーフレット（案）作成
2019年 普及啓発ツール作成、心のバリアフリー教室